

定例公安委員会開催概要

1 開催日

令和6(2024)年2月21日

2 開催内容

次の議題について、警察本部から説明・報告がなされ、決裁等が行われた。

■全体会議

【公安委員会から】

冒頭、委員から、

「ある会議で人口問題について聞く機会があった。現在1億2,500万人の人口が、今生まれた子供たちがちょうど75、76歳ころとなる2100年には6,300万人くらいまで減少し、高齢化率が40パーセントくらいになるとのことで、人口問題を真剣に考える必要性を感じた前日本商工会議所会頭等が人口戦略会議というのを立ち上げたそうだ。成長力のある8,000万人国家を目指すとともに、共働き共育てという言葉を使い、働くだけでなく、夫婦で一緒に育てていくというモデルを社会基盤として確立させる必要があるとのことであった。今後、さまざまな場面で耳にすることもあると思うので、ぜひ人口問題に関心を持っていただきたい。」

旨の発言があった。

【警務部議題】

○ 令和5年中における被疑者取調べ監督の実施状況について

警察本部から、「令和5年中、被疑者取調べは県下で6,895件実施され、前年比で961件増加している。不適正な取調べにつながる6類型を指す「監督対象行為」に関しては、昨年中、本県では1件発生している。本件の発生を受け、検討会の実施や通達の発出等により、再発防止対策を講じている。警務課取調べ監督室が行った巡察について、実施延べ回数は32回である。被疑者取調べに際し、監督対象行為が行われた疑いがある場合に行う「調査」の実施件数は6件であり、調査の結果、前出の1件を除き、監督対象行為なしと判明している。なお、昨年中の被疑者取調べに関する苦情の受理は5件であり、いずれも監督対象行為に該当するものはなかった。」旨の報告があった。

○ 警察あて苦情の受理・処理状況について（令和6年1月末現在）

警察本部から、「警察あて苦情の受理・処理状況について、本年1月中の受理は2件で、内容は刑事事件の捜査に関するもの等であった。1月中における処理は2件であった。」旨の報告があった。

《 委員発言 》

「例え、警察官の言動に非がなかったとしても、少しでも威圧的な対応だったと感じた市民は、その後もずっと嫌な思いを持ち続けてしまうと思う。丁寧で落ち着いた対応を心がけてほしい。」

○ ウォーターマークプログラムの導入について

警察本部から、「岩手県警察情報管理システム運用管理要綱において、「照会した結果を表示する画面にはウォーターマークを挿入するなど、画面に表示された内容の不適正な接写を防止するために必要な措置を執らなければならない。」とされており、端末で照会した結果を表示する画面全体において、ウォーターマーク、いわゆる「すかし」を表示することで、画面に表示された内容の不適正な接写を防止し、情報流出対策を図るものである」旨の報告があった。

【警備部議題】

○ 石川県能登地方を震源とする地震に伴う本県警察官の派遣について

警察本部から、「石川県能登地方地震災害の発生に伴う石川県公安委員会からの警察職員の援助要求があり、受諾の上、本県警察官を派遣するものである。新たに援助要求があったのは、特別生活安全部隊であり、派遣期間が本年2月23日から3月3日までの10日間、派遣人員は3人で、避難所訪問による相談・防犯活動に従事する予定である。」旨の報告があり、決裁をした。

■個別会議

○ 交通規制課

第197回岩手県都市計画審議会への出席結果についての復命、決裁

○ 運転免許課

免許取消等処分関係に係る意見の聴取結果等の説明、決裁